

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第6回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成28年11月9日（火）午後1時15分～午後3時
開 催 場 所	市役所301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口委員、成田委員、下田委員、指田委員、白土委員、栗岩委員、清水委員、波多野委員、高橋委員、鈴木委員 欠席者：福田委員、渡辺委員 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康推進G主査2名、栄養・歯科G主査、栄養・歯科G主任、予防G主任、委託業者1名
議 題	1 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画（案）について 2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について： ・新規事業や新しい施設等について、アクセスしやすい注釈を入れる。 ・用語集を資料編に入れるかどうか再検討する。 ・目標値の設定根拠を資料編に入れるか検討する。 ・10代後半から30代までを対象にした取組を今後増やすよう、策定懇談会の要望として策定委員会に伝える。 ・健康増進と食育を一体化して協議する場では、市からの報告だけでなく、市民も評価できる体制になるよう、策定委員会に伝える。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 報告 (1) 第5回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議結果について (事務局) 資料1「第5回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議録」について説明。 事前に委員に会議録を送り確認をお願いしたところ、特に修正等の連絡はないことから、本会議録をもって決定したい。 2 その他 (事務局) その他について事務局からは特になし。 3 議題 (1) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画（案）について (事務局) 資料2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画（案）」の第1章、第2章について説明。 (委員) 前回の計画では後ろに用語集が付いているが、この案では下に注釈を付ける形になっている。「ハグはぐ・むらやま」など新設した施設名をもっと広める方がよいと思うので、どういう経緯で作られたものかなどの用語集があるとよい。 (事務局) 前回の計画では、用語集を最後の資料編に加えていたが、今回はその都度のページの中で説明を加えている。確かに用語説明した方がよいものはほかにもあると思うので、もう一度整理し追加して、市民に周知が必要なものや用語として一般的に認知されていないものなどを中心に解説を入れたいと思う。多くなるようならば、ページに埋め込むことが難しくなるので、資料編の最後に用語集を入れていきたい。最後の会議になるが、事務局で整理をさせてもらうということで了解してほしい。

- (委員) 分からない言葉があった時にどこを見ればよいか分かるようになるならば、どういう形でもよいと思う。
新しく開設したものについては、少し違うニュアンスでとっている。「ハグはぐ・むらやま」もそうだが、「市で行う主な取組」の中の新規に関しては、こういうものだと分かった方がよいと思う。「取組名」「内容」「所管課」しかないと、どこへ行けばよいか分からない。「ハグはぐ・むらやま」も何も知らない人がこれを見ただけでアクセスできるのか。例えばインターネットや携帯電話で見られるなど、アクセスがしやすい説明があればよいと思う。そうすれば、資料としても現計画と比べてよくなったと思ってもらえると思う。
- (事務局) 工夫をしてみる。特に5年間で新たに加わった施設や取組や重要なものについて、読んで分かるように、あるいはホームページ等の案内に結び付けるような形を検討する。
- (委員) 前回も郷土の話をしたが、15ページの「狭山丘陵を背景とした～」という文章だが、文章が長いので、「狭山丘陵の緑豊かな自然のもと、郷土を愛し健康的な生活を送る～」とした方がよいと思う。
- (事務局) 「の」が多すぎて読みにくいこともあるので、もう少しコンパクトに工夫する。
- (座長) 第3章以降の説明をしてほしい。
- (事務局) 資料2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画(案)」の第3章、第4章について説明。
- (委員) 29ページの下段の「市民・地域・関係団体・職場等の取組」の「体育協会やスポーツ少年団を～」の文章だが、ジュニア育成だけでなく、シニアスポーツ振興もやっている。東京都からのシニア育成補助金や市からのシニアスポーツ振興として事業予算ももらっている。ジュニア育成だけでなく、シニアスポーツ振興にも努めていると記載した方が、バランスがとれると思う。実際、シニアスポーツでは、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ラジオ体操の3つについて補助金を使い、各団体に進めてもらっている。特にグラウンドゴルフは、多摩地区の大会で武蔵村山市は上位に入る。
- (座長) ゲートボールとラジオ体操も重要なことだと思うので、その2つの単語も入れた方がよいと思う。
- (事務局) 修正する。
- (委員) ロコモティブシンドロームの注釈に「運動器の障害により、要介護のリスクが高い状態になること」とあるが、運動器の障害だけではないと思う。加齢や衰え、原因は生活習慣になると思うが、もう少し分かりやすくした方がよい。
- (座長) 「現状と課題」の部分に「加齢と活動不足が主な原因で発生するロコモティブシンドローム」と書いてあるが、目標値になっているので、きちんと説明をしないといけない。
- (委員) 運動器イコール骨や関節・筋肉である。
- (事務局) 注釈を入れることでかえって混乱を招いているので、「現状と課題」の部分にもっと分かりやすい説明を入れて、修正する。
- (委員) 前回、朝食欠食率の20代・30代の目標値が計画的に進まなかったので15%以下に変えてもらった。この計画の中で目標として設定はされているが、具体的な施策としてどれに当たるのかが分からない。これでは前回と同じ施策・取組になってし

まうので、もう少し工夫したものを入れた方がよい。食育白書の中でも、20代・30代に対する取組が今後の課題となっている。せつかく新しい計画を作るのであれば、新しい取組を入れたい。武蔵村山市が底上げしたことにより成果を上げたとなれば、他市の見本にもなる。今まで食育に関わった中で、自分でも解決が難しいと思っているが、先頭を切って市として計画を出すのであれば、是非入れてもらいたい。イベントや新しい事業をするのか、20代・30代にどのように市が焦点を当てていくのか、策定委員会で考えてほしい。

(事務局) この取組から目標値につながらない、分かりづらいというのは、その通りだと思う。食育に関しても、他課との連携ということで、協働推進課と産業観光課とタイアップして事業を行うなど、5年前と比べ少しずつ取組ができています。もう少し「市が行う主な取組」でそれが見えるようにして、20代・30代への啓発をしたい。小・中学生に関しては、学校との連携で見えやすいかと思うが、強化すべき20代・30代への取組がもう少し分かるように、課の中でもう1度検討し、それを策定委員会で諮らせてもらいたい。

(座長) 他の地域でもよいが、20代・30代へ向けたアプローチをしている事例を知らないか。

(委員) 丸の中で、女性の朝食欠食が問題になっている。昼食はとっているが、夜も遅くなるのでなかなか食事をとれないということがあり、一般的に食が細く健康問題につながっている。そうした女性たちをターゲットに、健康教育、朝食を実施する取組を丸の内エリアで行っている。しかし、地域における20代・30代の朝食欠食の改善への取組で、具体的なものは思い当たらない。

(座長) 地場産野菜の利用促進のようなイベントがある時、20代・30代の人もあるのか。

(委員) 子どもがいるとイベントには来るが、単身で働いている人の率が上がらないと改善しないだろう。朝食だけでなく、「食べる」という意識が上がればよいと思う。コンビニやスーパー、企業とタイアップして、お弁当を買う人に向けて、栄養バランスが整っていて、値段が抑え目で買いやすいものを提供するのもよい。恐らくお金をかけたくないために、炭水化物やカップラーメンで終わらせる人が多いのだと思う。

(座長) 実際にそういうお弁当を販売している商工会議所やスーパーなどの取組を読み込めるように書いた方がよいのではないかと。提案すれば、開発してくれるスーパーはあると思う。子どもがテーマの食育推進会議の座長をしているときに、好き嫌いをなくしたいという親の気持ちがあり、子供が嫌いな食材を食べてもらえるようなお弁当の開発をしてほしいという話をコンビニエンスストアに提案したら、期間限定ではあったが開発して販売してくれたことがあった。PTAの意見がきっかけで作られたお弁当だったが、実は若い女性を買っていたらしい。食育改善ネットワーク協議会で具体的な内容の話をしてもらってもいいのではないかと。「市が行う主な取組」と「関係団体等の取組」のところに、読み込めるような表現を加えてもらいたい。

(事務局) 検討する。

(委員) 58ページの図だが、この計画のイメージだと、チェックのと

	<p>ころで「食育ネットワーク協議会へ報告、協議」はされて、情報共有はされるが、そこで出た意見はどのように反映されるのかは見え、参加した意義のある仕組みができるとよいと思うのだが、そのようになるのか。</p> <p>(事務局) 一体的に計画をチェックする機関、それを声にする機関として、健康増進と食育の両方を議論できる場として、この5年間かけてよりよい機関にしていきたいという事務局の思いはあるので、努力する。</p> <p>(座長) この文章からすると、「定期的に確認・点検します」の主語は市役所なのか。</p> <p>(事務局) そうである。</p> <p>(座長) 市役所が確認・点検をして、関係団体・協議会に報告をして、そこで課題を共有し、必要に応じて市が見直し・改善を行うという形なのか。推進協議会や食育ネットワークでも評価しなくてはいけないのではないか。市民が、市の事業がきちんと推進されているかどうかチェックしないといけないと思う。普通は市と市民のダブルチェックではないのか。</p> <p>(委員) 食育ネットワーク協議会に関しては、計画の中でうたっているが、健康づくり推進協議会の会議の設置目的には、点検・評価ということが具体的に書いていない。</p> <p>(座長) 市民も点検するという方向で策定委員会に諮ってもらえないか。食育ネットワーク協議会と健康づくり推進協議会を一本化していくので、その時に「市民が点検」というのを入れたい。報告だけでなく、市民が点検ができる動かし方を事務局に工夫してもらいたいと思う。</p> <p>(事務局) 考えたいと思う。</p> <p>(委員) 14ページの「地域ブランド」について注釈などを入れてほしい。</p> <p>(事務局) 23ページの「現状と課題」に、地域ブランドを説明した文章があるが、具体的にどのようなものが地域ブランドなのかは、工夫してわかるようにしたいと思う。</p> <p>(座長) 資料編等に盛り込めるか検討してほしい。空白部分を使いながら、そういうものを積極的に載せていく方がよいかと思う。</p> <p>(委員) 「食品ロス」はこの中に載せていないのか。</p> <p>(委員) 19ページの下の方に入っている。また、他課でフードドライブという取組をしている。</p> <p>(座長) そのような取組はどこに書いてあるのか。</p> <p>(事務局) 協働推進課が行った消費者講座で食品ロスを取り扱っていたので、そのイメージで消費者講座を入れたが、そこまでの部分は入れ込んでいない。</p> <p>(委員) フードドライブは、今の流行りものではなく、ずっと取り組んでいくべきものだと思う。</p> <p>(座長) 計画に載せることにより、継続するものになると思う。食品ロスが計画に入っているし、フードドライブも現状始まっているので、掲載してもよいのではないか。策定委員会に諮ってほしい。</p> <p>(事務局) 環境の計画との関連もあると思うので、確認する。</p> <p>(座長) 協働推進課は展示会など様々なことをしているようなので、「消費者講座等」もしくは「消費者講座・展示」などと入れないと漏れになると思う。</p>
--	---

- (委員) 朝食の話であるが、この中には小学生までの取組は載っているが、子育て世代になるまでの間のことがあまりない。他の市では、子どもを持つ前の人に、夜間の児童館を活用して心身の健康を保つための取組や、赤ちゃんを抱っこするなどの取組がされている。この世代の健康や、今後親になる世代に対する取組が、この計画にもう少しあった方がよいと思う。
- (座長) 17ページの「ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える環境の整備」で、この3項目なのか。
- (事務局) 「ライフステージを通して」という解釈は、全世代に関連するという捉え方をしている。
- (座長) 全世代に関連するのは、栄養・食生活もそうではないか。
- (事務局) それぞれの世代を通じて関連をするという括り方で、こころの健康や感染症などを整理した解釈である。
- (座長) ならば、「通じた」ではなく「共通する」ではないか。
- (事務局) そうすると食育や栄養も入ってしまうため「通じた」としている。
- (座長) 別途、下に「ライフステージ」が掛け算になっているが、学童期・思春期の部分と20代・30代の部分が弱いと指摘を受けている。
- (委員) 今回の計画に載せなくても、次の計画策定の時にはその世代への取組が少しでも増えたらよいと思う。
- (座長) 今後、中・高校生、いわゆるティーンエージャー世代への取組と、20代・30代への取組を充実させてほしいという懇談会の意見を策定委員会に伝えてほしい。
- (事務局) 今後の計画でそれを見据えた事業をやってほしいということ報告する。
- (座長) 「健康分野の健康づくり」は「全世代共通した健康づくりとその環境の整備」のような表現がよいと思う。食育も、生活習慣の改善も、基本的には全世代だと思う。
- (事務局) 策定委員会でも、「ライフステージを通じた」という表現については指摘されたので、もう1度、表現が伝わるのかどうかも含めて、検討をする。
- (委員) 38ページの「自殺者数」で、平成24年から26年の年代の内訳が書いてあるが、27年の内訳がない。また、「ストレスと上手に付き合う方法ができている」と書いてあるが、20歳未満の人たちはうまく付き合えるようになったという意味か。
- (座長) 「何らかの解決方法を知っているのは82.1%」とある。
- (委員) ここでどの年代を対象としているのかが分からない。
- (座長) こころの対策は、全世代を通じたことである。乳幼児の保護者だけの数字でいいのか。
- (事務局) 27年も同様に、若年の区分を入れたいと思う。ストレスの解消方法については「一般市民意識調査」で全世代に聞いていたので加えたいと思う。
- (座長) 資料3を説明してほしい。
- (事務局) 資料3「第二次健康増進計画・食育推進計画目標値」の説明。
- (委員) 「あんしん子育て予防接種ナビ」は、目標値を登録数にすると、予防接種が必要なくなると解除してしまうと思うが、大丈夫か。
- (事務局) 5年の計画であり、生まれてから6歳くらいまでが予防接種を実際に受ける時期なので、1度登録すれば6年程度は解除しな

	<p>い。</p> <p>(座 長) どのような内容なのか。</p> <p>(事務局) 登録すると、「予防接種の時期になるので、病院を予約してください」と連絡が来る。</p> <p>(座 長) これはインフルエンザなどの通知も来るのか。</p> <p>(事務局) 定期接種だけである。</p> <p>(委 員) 乳幼児は、1回に4つほど受ける必要があり、分かりにくいので利用すると思う。</p> <p>(座 長) 年間約500人が生まれるので、かける5年で、2500人という設定なのか。</p> <p>(事務局) それもあるが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に合わせて、400人かける5年を上乗せした。サイトには、こうした感染症が流行しており、こうした取組が必要であるという情報も載せているので、乳幼児期を過ぎても感染症情報を得る意味で引き続き利用してもらおうとよりよいと思う。</p> <p>(座 長) そうならば、数値目標の根拠が大切だと思う。資料3は、見直す時のために資料2にも載せた方がよい。資料2だけでは何故この目標値の数値になったのかがわからない。「あんしん子育て予防接種ナビ」登録者数の目標値は、年間500人の出生があり5年計画だから2500人という説明の方がよいと思う。</p> <p>(事務局) 整理をして、設定の根拠も分かりづらいところは直し、掲載する方向で検討し、策定委員会にも意見を聞く。市の他の計画では、目標値の根拠まで入っているものはないので、策定委員会としての意見も聞きたい。</p> <p>(座 長) 事務局も人事異動で変わるし、委員もリニューアルされていくので、5年たった時に、なぜこうなったのかのかが分からないといけない。</p> <p>(委 員) 評価をしていく上で根拠が分からないと、解釈が変わってってしまう。</p> <p>(座 長) 資料3そのものでなくても、根拠が分かるような一覧表が資料編にあればよいと思う。</p> <p>(委 員) 75ページの「こころの健康」の「子育て世代」の「コアラググループ」や「うさちゃんグループ」、「スマイリー」などの言葉がわかりにくいので、注釈などを入れてほしい。</p> <p>(事務局) 計画作成当時は、このグループ名だった。ここは注釈を入れないと分かりづらいので、分かるような工夫を入れたい。</p> <p>(座 長) グループ名より、どういう集団を対象にしているのかが見る人にとっては大事だと思う。</p> <p>(座 長) 今後のスケジュールだが、今回は最後の会議になっているので、修正は正・副座長に一任してほしい。もし気付いた点があれば、今週中に事務局に連絡してもらえればと思う。</p> <p>(2) その他</p> <p>(事務局) 今後の予定は、本日の意見を素案に反映し、正・副座長の確認をもらった上で、11月17日(木)に座長より懇談会からの素案を市長に報告する予定となっている。その後、11月28日(月)に策定委員会があり、12月6日(火)から1月4日(水)までパブリックコメントを実施する。また、より多くの市民の意見をいただくために市民説明会を12月9日(金)午後7時と12月18日(日)午前10時の2回開催する。な</p>
--	--

	<p>お、パブリックコメントと市民説明会へのお知らせを市報12月1日号に掲載するほか、市のホームページや市民総合センター、緑ヶ丘出張所、情報館、図書館、地区会館などに素案を置き閲覧できるような形にする。その後、年明けに策定委員会をもう1度開催し、パブリックコメントと市民説明会の結果を報告した後、策定委員会から市長へ報告、調整会議を経て、原案決定という流れにしたいと思う。その後、2月に議会の全員協議会、市役所内の庁議、計画の最終決定という流れを考えている。</p> <p>委員の皆さんには、計画書が冊子として完成したら、郵送したいと思っている。最後に、健康福祉部長より皆様へ挨拶を行いたい。</p> <p>(部長) 委員の皆様への挨拶。 (委員) 各委員からの挨拶。 (座長) 閉会の挨拶。</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0人</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____)</p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部 健康推進課 (内線 212)</p>
--------------	-----------------------------

(日本工業規格A列4番)